



# オンデマンド スキャンの設定

## ONTAP 9

NetApp  
February 13, 2026

# 目次

オンデマンド スキャンの設定 .....	1
ONTAP Vscanオンデマンド スキャンの設定について学ぶ .....	1
ONTAP Vscanでオンデマンドタスクを作成する .....	1
ONTAP Vscanでオンデマンドタスクをスケジュールする .....	3
ONTAP Vscanオンデマンドタスクをすぐに実行 .....	5
オンデマンド タスクを管理するための ONTAP Vscan コマンド .....	6

# オンデマンド スキャンの設定

## ONTAP Vscanオンデマンド スキャンの設定について学ぶ

オンデマンド スキャンを使用すると、ファイルのウイルス チェックをただちにまたはスケジュールに基づいて実行できます。

たとえば、ピーク時を避けてスキャンを実行する場合や、オンアクセス スキャンの対象外の大容量ファイルのスキャンを実行する場合などに便利です。cronスケジュールを使用していつタスクを実行するかを指定できます。



オンデマンド タスクを作成するには、オンアクセス ポリシーが少なくとも1つ有効になっている必要があります。オンアクセス ポリシーは、デフォルト ポリシーでも、ユーザが作成したものでかまいません。

このトピックについて

- スケジュールはタスクの作成時に割り当てることができます。
- SVMで同時にスケジュールできるタスクは1つだけです。
- オンデマンド スキャンでは、シンボリック リンクやストリーム ファイルのスキャンはサポートされません。



オンデマンド スキャンでは、シンボリック リンクやストリーム ファイルのスキャンはサポートされません。



オンデマンド タスクを作成するには、オンアクセス ポリシーが少なくとも1つ有効になっている必要があります。オンアクセス ポリシーは、デフォルト ポリシーでも、ユーザが作成したものでかまいません。

## ONTAP Vscanでオンデマンドタスクを作成する

オンデマンド タスクはオンデマンド ウィルス スキャンの範囲を定義します。スキャンするファイルの最大サイズ、スキャン対象に含めるファイルの拡張子とパス、およびスキャン対象から除外するファイルの拡張子とパスを指定できます。デフォルトでは、サブディレクトリ内のファイルもスキャンされます。

タスク概要

- SVMごとに最大10個のオンデマンド タスクを作成できますが、アクティブにできるのは1つだけです。
- オンデマンド タスクにより、スキャンに関連する統計が記載されたレポートが作成されます。このレポートを確認するには、コマンドを使用するか、定義済みの場所にタスクにより作成されたレポート ファイルをダウンロードします。
- ONTAP 9.14.1以降では、ワイルドカードを使用して、除外するオンデマンドパスとファイル拡張子を指定できます。

開始する前に

- **オンアクセスポリシーを作成した**が必要です。ポリシーはデフォルトまたはユーザーが作成したものを使用できます。on-accessポリシーがないと、スキャンを有効にできません。

## 手順

### 1. オンデマンド タスクを作成します。

```
vserver vscan on-demand-task create -vserver data_SVM -task-name task_name  
-scan-paths paths_of_files_to_scan -report-directory report_directory_path  
-report-expiry-time expiration_time_for_report -schedule cron_schedule -max  
-file-size max_size_of_files_to_scan -paths-to-exclude paths -file-ext-to  
-exclude file_extensions -file-ext-to-include file_extensions -scan-files-with  
-no-ext true|false -directory-recursion true|false
```

- `-file-ext-to-exclude` 設定は `-file-ext-to-include` 設定を上書きします。
- `-scan-files-with-no-ext` を `true` に設定すると、拡張子のないファイルをスキャンします。

```
`vserver vscan on-demand-task create`  
の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-on-demand-task-create.html ["ONTAPコマンド リファレンス  
"^]をご覧ください。
```

次のコマンドは、vs1 SVM に `Task1` という名前のオンデマンド タスクを作成します：

```
cluster1::> vserver vscan on-demand-task create -vserver vs1 -task-name  
Task1 -scan-paths "/vol1/", "/vol2/cifs/" -report-directory "/report"  
-schedule daily -max-file-size 5GB -paths-to-exclude "/vol1/cold-files/"  
-file-ext-to-include "vmdk?", "mp*" -file-ext-to-exclude "mp3", "mp4"  
-scan-files-with-no-ext false  
[Job 126]: Vscan On-Demand job is queued. Use the "job show -id 126"  
command to view the status.
```

+



``job show`` コマンドを使用してジョブのステータスを表示できます。 ``job pause`` コマンドと ``job resume`` コマンドを使用してジョブを一時停止および再開したり、 ``job stop`` コマンドを使用してジョブを終了したりできます。 "[ONTAPコマンド リファレンス](#)" の ``job`` の詳細を確認してください。

### 2. オンデマンド タスクが作成されたことを確認します。

```
vserver vscan on-demand-task show -instance data_SVM -task-name task_name
```

```
`vserver vscan on-demand-task show`  
の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-on-demand-task-show.html ["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。
```

次のコマンドは、`Task1`タスクの詳細を表示します：

```
cluster1::> vserver vscan on-demand-task show -instance vs1 -task-name
Task1

                Vserver: vs1
                Task Name: Task1
                List of Scan Paths: /vol1/, /vol2/cifs/
                Report Directory Path: /report
                Job Schedule: daily
Max File Size Allowed for Scanning: 5GB
                File Paths Not to Scan: /vol1/cold-files/
                File Extensions Not to Scan: mp3, mp4
                File Extensions to Scan: vmdk?, mp*
Scan Files with No Extension: false
                Request Service Timeout: 5m
                Cross Junction: true
                Directory Recursion: true
                Scan Priority: low
                Report Log Level: info
                Expiration Time for Report: -
```

#### 終了後の操作

タスクの実行をスケジュールする前に、SVMでスキャンを有効にする必要があります。

## ONTAP Vscanでオンデマンドタスクをスケジュールする

スケジュールを割り当てずにタスクを作成し、`vserver vscan on-demand-task schedule` コマンドを使用してスケジュールを割り当てることも、タスクの作成中にスケジュールを追加することもできます。

#### タスク概要

```
`vserver vscan on-demand-task schedule`コマンドで割り当てられたスケジュールは、  
`vserver vscan on-demand-task  
create`コマンドですでに割り当てられているスケジュールを上書きします。
```

#### 手順

1. オンデマンド タスクのスケジュールを設定します。

```
vserver vscan on-demand-task schedule -vserver data_SVM -task-name task_name  
-schedule cron_schedule
```

次のコマンドは、`vs2` SVM で `Task2` という名前のオンアクセス タスクをスケジュールします：

```
cluster1::> vserver vscan on-demand-task schedule -vserver vs2 -task
-name Task2 -schedule daily
[Job 142]: Vscan On-Demand job is queued. Use the "job show -id 142"
command to view the status.
```

```
`vserver vscan on-demand-task schedule`
の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-
vscan-on-demand-task-schedule.html ["ONTAPコマンド リファレンス
"^]をご覧ください。
```



ジョブのステータスを表示するには、`job show`コマンドを使用します。`job pause`コマンドと`job resume`コマンドはそれぞれジョブを一時停止および再開します。`job stop`コマンドはジョブを終了します。"[ONTAPコマンド リファレンス](#)"の`job`の詳細をご覧ください。

## 2. オンデマンド タスクがスケジュールされていることを確認します。

```
vserver vscan on-demand-task show -instance data_SVM -task-name task_name
```

```
`vserver vscan on-demand-task show`
の詳細については、link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-
vscan-on-demand-task-show.html ["ONTAPコマンド リファレンス"^]をご覧ください。
```

次のコマンドは `Task 2` タスクの詳細を表示します：

```
cluster1::> vserver vscan on-demand-task show -instance vs2 -task-name
Task2

                Vserver: vs2
                Task Name: Task2
                List of Scan Paths: /vol1/, /vol2/cifs/
                Report Directory Path: /report
                Job Schedule: daily
Max File Size Allowed for Scanning: 5GB
                File Paths Not to Scan: /vol1/cold-files/
                File Extensions Not to Scan: mp3, mp4
                File Extensions to Scan: vmdk, mp*
Scan Files with No Extension: false
                Request Service Timeout: 5m
                Cross Junction: true
                Directory Recursion: true
                Scan Priority: low
                Report Log Level: info
```

#### 終了後の操作

タスクの実行をスケジュールする前に、SVMでスキャンを有効にする必要があります。

## ONTAP Vscanオンデマンドタスクをすぐに実行

オンデマンド タスクは、スケジュールが割り当てられているかどうかに関係なく、ただちに実行することもできます。

#### 開始する前に

SVM でスキャンを有効にする必要があります。

#### 手順

1. オンデマンド タスクをただちに実行します。

```
vserver vscan on-demand-task run -vserver data_SVM -task-name task_name
```

次のコマンドは、vs1 SVM 上で `Task1` という名前のオンアクセス タスクを実行します：

```
cluster1::> vserver vscan on-demand-task run -vserver vs1 -task-name
Task1
[Job 161]: Vscan On-Demand job is queued. Use the "job show -id 161"
command to view the status.
```

```
`vserver vscan on-demand-task run`
```

の詳細については、[link:https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-on-demand-task-run.html](https://docs.netapp.com/us-en/ontap-cli/vserver-vscan-on-demand-task-run.html) ["ONTAPコマンド リファレンス"]をご覧ください。



`job show` コマンドを使用してジョブのステータスを表示できます。`job pause` コマンドと `job resume` コマンドを使用してジョブを一時停止および再開したり、`job stop` コマンドを使用してジョブを終了したりできます。"ONTAPコマンド リファレンス"の `job` の詳細を確認してください。

## オンデマンド タスクを管理するための ONTAP Vscan コマンド

オンデマンド タスクを変更、削除、またはスケジュールを解除できます。また、タスクの概要と詳細を表示し、タスクのレポートを管理できます。

状況	入力するコマンド
オンデマンド タスクの作成	<code>vserver vscan on-demand-task create</code>
オンデマンド タスクを変更する	<code>vserver vscan on-demand-task modify</code>
オンデマンド タスクを削除する	<code>vserver vscan on-demand-task delete</code>
オンデマンド タスクの実行	<code>vserver vscan on-demand-task run</code>
オンデマンド タスクのスケジュールの設定	<code>vserver vscan on-demand-task schedule</code>
オンデマンド タスクのスケジュールを解除する	<code>vserver vscan on-demand-task unschedule</code>
オンデマンド タスクの概要と詳細を表示する	<code>vserver vscan on-demand-task show</code>
オンデマンド レポートを表示する	<code>vserver vscan on-demand-task report show</code>
オンデマンド レポートを削除する	<code>vserver vscan on-demand-task report delete</code>

この手順で説明されているコマンドの詳細については、"ONTAPコマンド リファレンス"を参照してください。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。